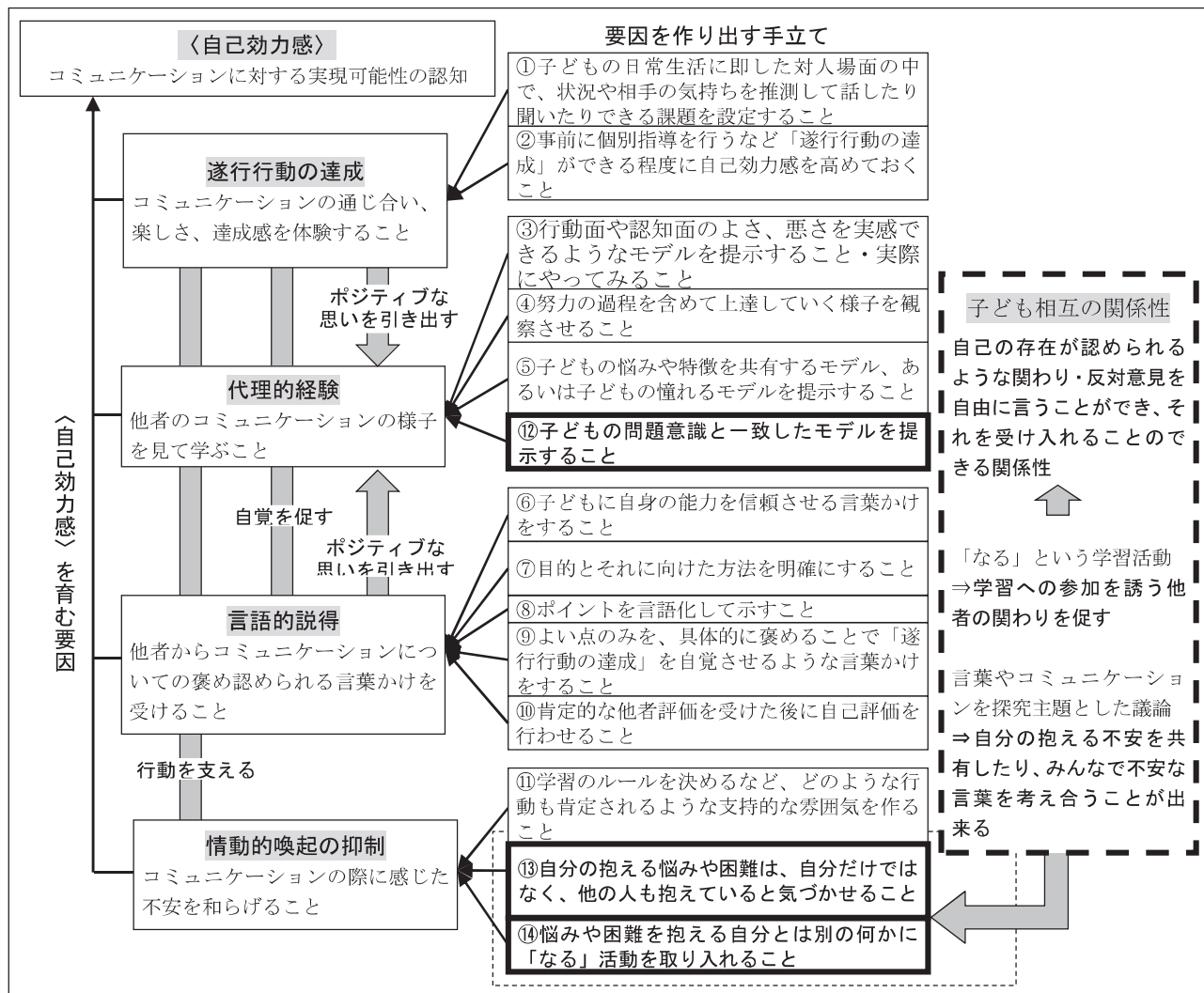


また、自己効力感を育む要因同士の連関が見出された。ひかりの事例では、班の子どもたちとの関

【図 1】本研究で見出された〈自己効力感〉を育む教師の手立て



係性（【事例 1】【事例 2】）があったからこそ、話し合いへの不安が和らぎ（情動的喚起の抑制）、劇の練習、発表（遂行行動の達成）を行うに至った。そして、発表後に、ひかりを褒め認める言葉かけ（言語的説得）がひかりの「遂行行動の達成」の自覚を促している。一方、しゅんも話し合いに参加することが出来たのは、班の子どもたちに誘われたからこそであった。このように、子どもたち相互の関係性が「情動的喚起の抑制」を促し、それが基盤となって「遂行行動の達成」を支え、さらに「言語的説得」が「遂行行動の達成」を自覚させるという連関があると考えられる。

そのような子ども相互の関わりを生み出す教師の手立てとして『「なる」という学習活動』『言葉やコミュニケーションを探究主題とした議論』の成果として述べる。まず、「なる」ことに関して、先に述べたように、子どもが元々持っている不安や悩みから解放し、「情動的喚起の抑制」を促すと考える。また、「役者」「監督」「演出家」という役割に「なった」ことは、自ら話し合いに参加できない子どもを、話し合いへ誘う状況を作り出していった。しゅんの事例では、役割に「なった」からこそ、しゅんの発言を誘う他の子どもの関わりを生み出していくことができたのである。

一方、「言葉やコミュニケーションを探究主題とした議論」を行うことに関して、実験授業では、「気持ちを伝える言葉の大切さ」について、みんなで話し合い、納得した言葉を「役者」が演じるように

していた。このことは、自信のない子どもでも、みんなの言葉に支えられる形になり、自信を持って伝えることができると考える。

3. 本研究の成果と課題

まず、臨床心理学における先行実践より、〈自己効力感〉を育む 11 の手立てを見出した。次に、実験授業を通して、ひかり、しゅんの個別のコミュニケーション能力変容の様相を捉え、〈自己効力感〉を育む 3 の手立てを見出した。さらに、〈自己効力感〉を育む要因相互の関係を見出すことが出来た。

4. 引用・参考文献（五十音順）

A.バンデューラ（1979）『社会的学習理論』金子書房

長田友紀（2011）「国語教育における話し言葉指導の目標論の検討」『文藝言語教育 文藝篇』第 60 巻、pp.27-46

川井栄治・吉田寿夫・宮元博章・中山一英（2006）「セルフ・エスティームの低下を防ぐための授業の効果に関する研究—ネガティブな事象に対する自己否定的な認知への反駁の促進—」『教育心理学研究』第 54 巻、pp.112-123

河野順子（2009）『入門期のコミュニケーションの形成過程と言語発達—実践的実証的研究—』溪水社

坂野雄二（1995）『認知行動療法』日本評論社

坂野雄二（2002）「人間行動とセルフ・エフィカシー」坂野雄二・前田基成編『セルフ・エフィカシーの臨床心理学』北大路書房、pp.2-11

佐藤容子（2005）「学習障害（LD）児のいる教室—お友達づくり大作戦—」佐藤正二・相川充編『実践!ソーシャルスキル教育小学校編—対人関係能力を育てる授業の最前線—』図書文化社、pp.168-175

永田麻詠（2011）「国語科教育におけるコミュニケーション教育の成果と課題—『自分への自信』を取り戻すコミュニケーション教育に向けて—」『国語教育思想研究』no.3、pp.39-48

原田勝哉（2005）「自己効力感を高める」佐藤正二・相川充編『実践!ソーシャルスキル教育小学校編—対人関係能力を育てる授業の最前線—』図書文化社、pp.128-135

原田大介（2005）「人間関係をよりよくする国語教育：表現することを通して」『全国大学国語教育学会発表要旨集』108、pp.107-110

原田大介（2009）「自分のことばを大切にする国語教育実践：小学 4 年生 28 人とのかかわりを通して」『国語科授業論叢』no.1、pp.63-70

原田大介（2010）「国語科に必要なコミュニケーション教育とは何か—『関係的な生きづらさ』の考察を中心に—」『国語教育思想研究』no.2、国語教育思想研究会、pp.51-60

原田大介（2011）「小学校国語科教科書におけるインクルージョンの可能性：コミュニケーションと遊びの観点を中心に」『国語科授業論叢』no.3、pp.80-89

村松賢一（2001）『対話能力を育む話すこと・聞くことの学習—理論と実践—』明治図書

山元悦子（2007）「言語コミュニケーション能力の発達モデル」位藤紀美子編『国語科教育改善のための言語コミュニケーション能力の発達に関する実験的・実践的研究』京都教育大学教育学部国語教育研究室（平成 16 年度～平成 18 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））成果報告書 pp.100-109

i 実験授業を行うにあたって、公立 O 小学校第 5 学年の学級を対象に、平成 24 年 5 月 30 日から平成 25 年 1 月 16 日まで約週 1 回の頻度で、計 19 回の参与観察を行った。その際、その学級の担任との相談の下、コミュニケーションに不安が見られる 2 人の児童を抽出し、国語科授業及び帰りの会において様子を観察し、実態の把握を行った。

社会科の授業作りをユニバーサルデザインの視点から考える

社会科教育 藤瀬 泰司

- 1] あなたは、社会科授業のユニバーサルデザインに取り組むことになりました。社会科授業のユニバーサルデザインを定義すると、「学力の優劣や有無にかかわらず、すべての子どもが、楽しく『わかる・できる』ように工夫・配慮された通常学級における社会科授業のデザイン」ということができます（村田辰明『社会科授業のユニバーサルデザイン』東洋館出版社、2013年、18頁）。

教科書（『小学社会6上』教育出版2011年）の「江戸幕府がたおれる」という紙面を使って授業を作る場合、どのような目標を掲げて、どのような発問を準備して、授業の流れをどのように展開することがユニバーサルデザインになるのでしょうか。自分なりに授業を考えてみよう。

私が考える「江戸幕府がたおれる」のユニバーサルデザイン

1. 本時の目標（教えること・学習させること）と学習課題

--

2. 本時の学習課題（本時のめあてとなる問い）

--

3. 本時の授業展開

過程	子どもに学習させること	使う資料
導入	----- -----	----- -----
展開	----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	----- ----- ----- ----- ----- ----- -----
終結	----- -----	----- -----

2 後掲の資料1は、本学部の3年生が作成した「江戸幕府がたおれる」の教授計画書です。資料1をみて、この授業の優れているところを10個以上探そう。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

3 社会科の授業をユニバーサルデザインする上で大切なことは、授業をシンプルに【焦点化】すること、授業をビジュアルに【視覚化】すること、授業でシェアする【共有化】ことです（村田辰明『社会科授業のユニバーサルデザイン』東洋館出版社，2013年，14頁）。この3つの観点からみた場合、資料1の優れているところは、どのように分類できますか。

分類	資料1の優れているところ
授業をシンプルにすること	
授業をビジュアルにすること	
授業でシェアすること	

■ 本日の感想

資料1「江戸幕府がたおれる」を使った社会科授業（『小学社会6上』教育出版2011年）

1. 本時の目標

慶喜が大政奉還した理由は、①開国の影響により高まる民衆の不满、②大塩平八郎の乱③薩長による倒幕運動の3つであることを説明することができる。

2. 本時の展開

過程	教師の指示や発問	教授学習活動	資料	子どもに習得させたい知識
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・資料①は何をしているところか。 ・大政奉還の意味を辞書で引いてみよう。 ・慶喜はどれか。 ・両脇の人たちは誰か。 ・対面している人たちは誰か。 ・場所はどこか。 ・地図帳で確認しよう。 ・なぜ京都なのだろう。 ・政権を朝廷に戻すと江戸幕府はどうなる。 ・江戸時代はいつからかな。 ・何年間続いただろう。 ・武士の時代はいつからかな。 ・何年間続いただろう。 ・武士の時代は慶喜が終わらせた。 ・慶喜はなぜそんな大きな決断をしたのだろう。 ◎なぜ慶喜は政権を天皇に戻し、武士の時代を終わらせたのだ 	<ul style="list-style-type: none"> T発問する P答える T指示する P調べる T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える T指示する P確認する T発問する P予想する T発問する P答える T発問する P調べる T発問する P調べる T発問する P調べる T説明する T発問する P予想する T発問する P予想する 	①	<ul style="list-style-type: none"> ・大政奉還。 ・1867年、江戸幕府の15代将軍徳川慶喜が政権を朝廷に戻したこと。 ・一人で座っている人。 ・老中。 ・諸大名。 ・二条城。 ・京都府。 ・朝廷に政権を返すため。朝廷が京都にあるから。 ・力がなくなる。終わる。 ・1603年。 ・約260年間 ・1192年。鎌倉時代。 ・約700年間 ・せざるをえなかったのだと思う。 ○一揆や打ちこわしの激化 ○開国

	ろう。予想してみよう。教科書を使ってもいいよ。			○大塩平八郎の乱 ○薩長同盟
展開 1 開 国 に よ り 高 ま る 民 衆 の 不 満	<ul style="list-style-type: none"> ・資料②を見て。何をしているの だろう。 ・誰が誰を襲っているのだろう。 ・なぜ襲っていると思う。 ・盗んでいる人探して。 ・じゃあ何をしている。 ・何のために。 ・なぜ民衆は怒っているのだら う。 ・資料③を見て。何の統計を表し ているかな。 ・資料②の打ちこわしはどこで起 きたと思う。 ・正解。何が分かる。 ・どれくらい。 ・打ちこわしの目的は何か。 ・なぜ米の値段が上がったのだら うか。 ・なぜ貿易を始めると米の値段が 上がるのだろうか。 ・どうしてこの米屋が襲われたの だろうか。 ・米を買い占めたらますます民衆 の生活が苦しくならないか。 ○ここまでの学習を踏まえると、 慶喜はなぜ大政奉還したのか な。 	<ul style="list-style-type: none"> T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える T発問する P探す T発問する P答える T発問する P予想する T発問する P予想する T発問する P答える T発問する P予想する T発問する P調べる T発問する P答える T発問する P予想する T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える 	<ul style="list-style-type: none"> ② ・打ちこわしをしている。 ・民衆が米屋の商人を襲ってい る。 ・米を盗もうとしているから。 ・見当たらない。 ・米をばらまいたり家を壊した りしている。 ・怒りをぶつけるため。世直し を求めるため。 ・米屋が悪いことしたから。 ③ ・幕末の米の値段の移り変わ り。 ・1866年あたり。 ・米の値段が跳ね上がってい る。 ・約6倍。 ・値下げの要求。 ・外国との貿易を始めたから。 ・国内の品物が不足したから。 不平等条約を結んでいたか ら。 ・商人が米を買い占めており、 自分たちの利益しか考えて いなかったから。 ・だから打ちこわしをした。 ○民衆の不満が高まったこと により幕府への求心力が弱 まったから。 	

<p>展開 2 大塩平八郎の乱</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料④のグラフを見て。何の統計か。 ・大塩平八郎の乱を探してみよう。 ・なぜ乱を起こしたか。 ・どうしてそう考えたの。 ・大塩平八郎はどこで乱を起こした。 ・地図帳で確認しよう。 ・乱はどれくらい続いたと思う。 ・たった1日で鎮圧されたのに幕府はとても動揺した。どうして。 ○ここまでの学習を踏まえると、慶喜はなぜ大政奉還したのかな。 	<p>T発問する P答える T指示する P探す T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える T指示する P確認する T発問する P考える T発問する P答える T発問する P答える</p>	<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百姓一揆と打ちこわしの推移。 ・1837年。 ・大ききんで苦しんでいる人々を救うため。 ・大ききんの翌年だから。 ・大坂。 <p>(地図の見方と位置関係を把握する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1か月(実際は1日で鎮圧された) ・幕府の元役人という幕府側の人間が起こしたから。 <p>○幕府側の人間である大塩平八郎が乱を起こしたことにより、幕府が動揺したから。</p>
<p>展開 3 武士の倒幕運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想で薩長同盟が出ていたね。何藩と何藩の同盟かな。 ・今の何県かな。 ・地図帳で確認しよう。 ・薩長同盟はいつ結ばれたか。 ・薩摩藩と長州藩はとても仲が悪かった。どうして同盟を結べたのだろう。 ・なぜ薩長同盟を結んだのか。 ・なぜ幕府を倒そうとしたのか。 ・薩長同盟を結んだことは幕府にどのような影響を与えたかな。 ○ここまでの学習を踏まえると、 	<p>T発問する P答える T発問する P答える T指示する P確認する T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える T発問する P答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薩摩藩と長州藩。 ・鹿児島県と山口県 <p>(地図の見方と位置関係を把握する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1866年。(大政奉還の前年であることに気付かせる。) ・坂本竜馬が間に入って同盟を結ぶように働きかけたから。 ・協力して幕府を倒すため。 ・新しい政府を作るため。 ・危機感を与えた。 <p>○薩長同盟を結び、薩長による</p>

	慶喜はなぜ大政奉還したのかな。	P答える		倒幕運動が幕府に圧力をかけていったから。
終 結	◎なぜ慶喜は政権を天皇に返し、武士の時代を終わらせたのだろうか。まとめよう。 ・大政奉還は誰が考えたと思う。 ・どのように慶喜に伝えたのだろうか。(教科書に載っていないため予想が難しい場合は説明する。)	T発問する Pまとめる T発問する P答える T発問する P予想する		◎①開国の影響により高まる民衆の不满。②幕府側の人間が起こした大塩平八郎の乱。③薩長による倒幕運動。これら3つの要因が幕府に圧力をかけたから。 ・坂本竜馬 ・後藤象二郎を通じて土佐藩主の山内容堂に大政奉還の案を伝え、山内容堂が慶喜に大政奉還の上奏文を提出した。(教科書には記述されていないが、教科書に載っていることがすべてではないということに気付かせたい。)

3. 授業資料

- ①写真資料「大政奉還」(資料集)
- ②写真資料「江戸で起こった打ちこわし」
- ③統計資料「幕末の米の値段の移り変わり」
- ④統計資料「百姓一揆と打ちこわし」
- ⑤写真資料「幕末の人物つながり調べ」

4. 参考文献・URL

- 【01】大石学『ジュニア日本の歴史⑤ 天下泰平のしくみ』小学館 (2001)
- 【02】金田一京助編『例解学習国語辞典』小学館 (2011)
- 【03】東京書籍編集部『ビジュアルワイド社会科資料集6年』東京書籍 (2011)
- 【04】川畑慈範『新しい社会 歴史』東京書籍 (2013)
- 【05】日本を守るものに右も左もない
<http://blog.nihon-syakai.net/blog/wp-content/uploads/img2011/> (2014年10月15日最終アクセス)
- 【06】明治神宮とは
<http://www.meijiingu.or.jp/about/3-3.html> (2014年10月16日最終アクセス)
- 【07】京都御所
<http://www.ntv.co.jp/kyoto2013/exhibition/02.html> (2014年10月16日最終アクセス)